

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2010年1月1日

76号

## パンタナールの自然を保護し レダを観光の王国に！！



レダの支流に憩う鳥の群れ

二〇〇九年十二月飯野撮影



謹んで新年のお喜びを  
申し上げます。

不動産バブル崩壊、  
金融機関の破綻により  
波乱が予想されるアメ  
リカ。金融危機対応で  
急増する、財政赤字。  
地に落ちたアメリカの  
復活はなるのか？なら

ないのか？この問題が世界に与える影響は？  
このような問題が心配され論議される、時  
勢です。

世界中が混乱すればするほど、私たちが希望  
の光にならなければと痛切に感じます。

この混乱の発端は、自己の利益を優先する、  
社会構造であり経済システムだからです。この  
問題の解決は、人間本来の姿、そして世界の本  
来あるべき姿がどうあるべきか深刻に考えるこ  
となくして解決の道を見出すことができないと  
思います。この社会は個と全体との関係でなり  
たっています。個と全体の調和が崩れると混乱  
が生じます。全体を優先しない個人目的はない  
し個を保護しない全体目的もありえませんが、

今の社会は全体の利益を優先するのではなく、  
個の利益を優先するところから造られた社会構  
造であり、経済システムです。この構造とシス  
テムが今日の問題を引き起こしております。南  
北米福地開発協会は個と全体の調和と他の為に  
生きる人生を推薦して活動しております。そし  
て自然と万物世界を汚染から保護する活動です。  
今年二〇一〇年もこの大きな夢を実現するため、  
前進そして前進です。

皆様のご健勝を衷心より祈念申し上げます。

南北米福地開発協会 会長 神山威



## レダから新年の抱負 謹賀新年

南米パンタール・レダの地から新年のご挨拶を申し上げます。

私共夫婦して貴重なメンバーと共に、源流的聖地で歩めることを限りなく感謝しています。

皆様の厚いご支援のお陰で、レダも二〇〇九年で十年の節目を終え、今年は第二次十年開拓元年出発です。

今年も大いなる希望を胸に皆様と共に継続・前進・発展を遂げて参りましょう。

皆様とご家族の上にこそ多幸を衷心よりお祈りしています。

二〇一〇年一月一日

飯野貞夫・絢子



今年是一段と今まで進めて来た次の5つのプロジェクトが大きな根を張り、幹が育っていくことでしょう。皆様と共に、その為の努力をして行きたいと思います。

植樹活動：地球温暖化・砂漠化の対策の一環として、開拓初期から植樹活動を推進して来ましたが、昨年は、レダ近隣の村々だけでなく、青年ボランティア隊がエステ市で市長を先頭に、中学高校五十校で五千本のニームを植樹しました。この機運を盛り上げ、レダからパラグアイ中に火をつけ、南米全体にこの緑化プロジェクトを拡大して行けるよう取り組んで参ります。

エコツアー名勝地レダ：十二月初旬、鶴、鷺はじめ大鳥が千羽以上飛来する出来事がありました。したが、それ以外にも昨年は、大アリクイ、鹿猪、オオトカゲ、陸亀、ダチョウなど、次々と動物達が日陽園（レダ）に顔を見せています。これら自然をより良く保護して行きたいと思えます。更に大統領補佐官も感動した支流奥へのエコ街道が第三・第四の橋と共に開通、一層大草原の自然を楽しんで頂けるようになって来ています。

国が観光に力を入れる方針ながら「パラグアイでこんなに素晴らしい大自然を見れるとは知らなかった！」とパラグアイの政府ゲストが感動しています。知られざる秘境ということですが、

牧畜：自然放牧を中心とした牛の飼育が本格的に取り組み始めました。現在四百五十頭ですが、設備を充実させて、拡大させて行く予定です。収益事業としての道を作るプロジェクトです。更に「豚ランド」が開設され、十頭から四力月で四十頭になって来ています。

可愛い子豚が走り回っています。

農業：第一農園はゲストに楽しんでもらえるよう農業公園への進展がされています。

奥地百h（一km×一km）は、半年水没するパンタールの恩恵を生かした腐葉土の多い肥沃な土地で自然栽培（種だけ蒔いて後は収穫を待つだけで自然に任せる）が試みられ、現在マンジョウカ、トウモロコシ、大豆、かぼちゃなどが蒔かれています。四、五ヶ月の勝負です。

この実験が成功すると、自然を破壊せず、今まで使われていなかった土地が生かされて、大いなる収穫が求められる人類の食糧問題解決への糸口が切り開かれるかもしれません。

VIP研修会：この十年で素晴らしい研修施設が準備されましたので、二〇〇九年も元教育文化省副大臣、労働省副大臣はじめVIPの方々の研修が行われましたが、今年も国家と世界に影響を与えるようなゲストをお迎えして、神の下地球一大家族、世界平和を目指した心情と理念の発信地となつて貢献して行きたいと思っています。

既に今年二月には韓国から平和大使四十名程が来園したいと申し込んで来ています。

（文責：飯野貞夫）





## 鳥の大群飛来！

(十二月一日撮影)

何と千羽を超えるトウユウ、シラサギ、紅へらさぎ、しぎ、川ウなど、親子連れも多く、沢山の種類の大型の鳥たちが支流奥百ヘクター農場の手前の池に大集合しています。

十年間こんな沢山の大型鳥たちの群れは見たことがありません。正に壮観の一語です。

支流の水がどんどん干上がって遂に歩けるようになって、支流がせき止められた池に集結したのでしよう。

これも餌の魚がいればこそ集まりです。一日に何万匹と食べられたのでは、魚もいつ無くなるか時間の問題と思われませんが、既に四日滞在しています。ビデオにも撮りましたので、いずれ皆様のお目にかかることもあるでしょうからお楽しみに。



## 中井、古市さんレダ着！

十二月二日、アスンシオンをミリタリー機で発つて、バイアネグラに降りた中井重幸、古市和也氏は、上山先生がボートで出迎えをして、途中ディアナ、カトルセマジョ、エスペランサのインディヘナ村に寄りながら、レダに無事に午後四時元気に到着しました。

十二月三日、朝から各建物・施設を案内し、農場及び植林関係拠点等は、中田所長も同行されて、それぞれ農場施設がどういう目的で、どのようにして進めて来たかを説明してもらいました。

二人とも大いに希望を持ったようです。彼らの責任分担に関しては、これからじっくり話し合って決めて行きたいと思っています。古市さん曰く「少ない人数でこんな広い範囲の開拓を良く進めて来たことに驚きを感じます。」



写真上：レダに上陸した中井さん（右）、古市（中央）さんとボートを運転をされた上山先生

## 第一農場を農場公園へ

現在中田所長は、第一農場を本格的に整備整頓され、畑の中をゲストが歩き易いように再利用の材木を敷いた道を作られたり、種を蒔いても古くて芽が出ていなかった花壇にも一度種を蒔かれたり、西瓜やメロンのポット苗を作られたり、蒔き水の時に使うホースにシャワーヘッドを利用して、植物に静かな雨に似た優しい蒔き水が出来るように工夫したり、ゲストをお迎えした時に喜んでもらえる公園のような楽しい農園にして行きたいと張り切っています。

皆様も次回御来園の時には新しい出会いがあることでしょう。



1 1月花壇が初めて作られ、再度種蒔きがされた。



## 第10回ピースライフセミナー

(11月21-23日)



### 第十回セミナーの報告

(吉本邦男)

このたびのセミナーは初めて二泊三日のスケジュールで実施されました。

参加された方は三十五名

今迄の一泊二日のスケジュールでは時間的に非常に制約がありました。が今回は講義内容はとても充実しました。

高津先生も従来の講義に加えて二日目も担当して下さり裏山散策で拾ったどんぐりからポット苗を作る実演もあり、参加された方々が大いに喜ばれました。

### 参加者の感想

『パンタナール、レダ開発の話や映像を見る度に一年前に奉仕隊に参加した時の感動が蘇り、また参加したいとの気持ちが湧きあがってきます。南北米福地協会の方々には植樹活動やインディヒナの村の教育支援など、一つの活動を取り上げてみても言葉と行動が一致している方々だなあと感じます。』

『森を作る話はとても参考になりました。コストがほとんどからず、に手間もかからずドングリと土だけで森が作れると思うとわくわくしました。』

## レダ10周年記念プロジェクト 支援のお願い



現在の滑走路は粘土で雨の日は使用できず、天気の時はおもうたる砂塵のため、砂利をひき水はけを良くする計画



観光の王国レダを世界の人々に見てもらうため、何時でもレダを訪問できる環境(滑走路の整備)を!!

パラグアイ第二の都市、シュウダデルエステ市の育苗所を拡充5万本の苗木を育てられるように



担当の  
ベニグノ夫妻

### 支援金送付は事務局の

口座が現金書留にてお願いします。

旧年中は会員の皆様には色々なご協力をありがとうございました。本年も事務局一同、より良き未来を築くためより一層。頑張りますのでよろしくご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。柴沼より

### 南北米福地開発

#### 協会会員の募集

南米、パラグアイパンタール地域への植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会員は月五〇〇円、毎月、パンタール通信を送ります。また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

### 南北米福地開発協会 事務局

〒二一三〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口二一十一番十五

岩崎ビル四F

電話

〇四四一八二九一二八二二

Fax

八二九一二八二二〇

会費納入

郵便口座 〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp